山口大学医学部附属病院

先進救急医療センター

■ センターの特色

初療室と救急集中治療室(EICU)20 床からなる先進救急医療センター(AMEC[3]: Advanced Medical Emergency and Critical Care Center)として,重症患者の診断・初期診療と集中治療を一貫して担っています。3 次救急病院として年間約 1,400 名の救急搬送を受け入れています。重症感染症や多発外傷,急性中毒や心停止後症候群については救急科が主科となり人工呼吸管理や血液浄化療法,体温管理療法や体外式膜型人工肺(ECMO)等を活用しながら治療を行います。くも膜下出血や心筋梗塞のような他科が主科となる重症患者には,人工呼吸管理などの全身管理を救急科でサポートします。

その他にもドクターカーやドクターヘリのような病院前診療,DMAT(Disaster Medical Assistance Team)を中心とした災害医療,救急隊や院内の多職種を対象とした救急対応の教育にも積極的に取り組んでいます。


救急診療


集中治療


緊急手術


災害医療

■ 研修内容

初期研修医は救急科で入院する患者の主治医チームの一員として診療に参加します。救急患者の搬送があれば初療室での初期診療に加わることもできますが,基本的には集中治療室での入院管理を担当します。平日は毎朝,入室患者の診療経過の症例カンファレンスを行っており,主治医として担当している患者の情報を共有し,治療方針についてディスカッションを行います。水曜日には教授回診も行っています。その他に,最新の知見について共有しあう抄読会や,救急隊を交えた救急事例検討会も開催しています。希望者には学会発表やドクターヘリ同乗の機会もあります。

■ 研修目標

- □ 重症患者の初期対応の知識や技能を習得する(バイタルサインの評価,生理学的所見の評価 等)
- □ 集中治療室での入院管理についての基本的な知識を習得する(by system approach 等)
- □ 救命のための医療機器の適応や使い方を学ぶ(人工呼吸管理,血液透析,補助循環装置 等)

■ 指導医からのコメント

プレホスピタルから集中治療まで



当科は,ドクターヘリ・ドクターカーによるプレホスピタルから ER, そして重症患者の全身管理を行う集中治療まで一貫して学べる「救命センター型救急」が強みです。大学病院ならではの豊富な医療デバイスを駆使した高度な医療に触れられます。現場では 24 時間 365 日, 必ず上級医と専攻医の最低 2 人以上が当番として常駐。専攻医が最前線で主導的に動きつつ, 疑問があればいつでもすぐに上級医に質問・フィードバックを受けられる体制を確立しています。この徹底したサポートと実践のバランスこそが, 独り立ちの早さの秘訣です。研修医の先生は専攻医の下につくことが多いため, 学年も近く聞きやすい環境です。救急・集中治療の経験はどの科でも役に立つと思います。

― 井上 智顕（平成 24 年卒業）

■ 先輩からのコメント

挑戦し, 喜びを感じられる場所



初期研修医の先生には我々若手医師とともに集中治療室に入院する患者の診療をおこなってもらいます。毎日のエコーでの血行動態の評価や動脈血ガス分析の解釈など, 集中治療室での一般的な診療について学んでもらっています。また, 中心静脈カテーテルの留置や動脈圧ラインの確保, 気管挿管など, 経験できる手技も豊富です。一般病棟や市中病院では遭遇しないような「超」重症患者に対して, 少しずつアセスメントの幅が広がっていくのをぜひ体感してください。毎朝の症例カンファレンスでは循環器内科や脳神経外科をはじめとした, さまざまな科の重症患者のディスカッションに参加できるのも魅力の一つです。皆様の研修をお待ちしています！

― 友景 琢人（令和 3 年卒業）

■ お問い合わせ ・ Web サービス

山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター
藤田 基
TEL: 0836-22-2343（医局事務）
E-mail: motoki99@yamaguchi-u.ac.jp



https://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~amec/index.html
Webサイト

AMEC3_YMGC
Instagram

https://www.youtube.com/watch?v=ljXJBk6rn64
紹介動画